

中山間地の農業振興に過疎債の活用を

地域に合った施策で取り組みたい

市長

日吉、美山の農地は条件が悪く保全すら困難な状況となっている。農地は環境保全でも重要な役割を担っている。全国では「葉っぱビジネス」で収益を上げている地域、小さいヒントが収益に結びつく農業、国が進める六次産業化

大きな役割を担っており、市の財産と考えている。過疎債の活用も考慮しながら地域に合った施策を考えていきたい。法に基づく契約を官民協働で発行した

必要と考えるが。「くらしの便利帳」は随意契約で実施したが、このような事業を進める中で、適切かつ合理的な対応をすべくルーラル化に取り組んでいく。六次産業化とは農業が加工業などの第2次産業や流通業などの第3次産業に進出したり連携すること。



環境保全の役割も担う農地



活緑クラブ 松尾 武治 議員

木戸

被災者支援システムを導入しては

大変有効なシステムと認識している

市長



「被災者支援システム」のパンフレット

東日本大震災が発生して、半年が過ぎようとしている。台風12号でも甚大な被害が発生した。本市においてもいつ発生するかわからない。ひとたび災害が発生したときは、迅速な救助や支援が求められる。そのようなときに阪神淡路大震災直後に開発された「被災者支援システム」がある。罹災証明等の発行に大変有効である。本市でも導入すべき

被災者支援システムは大変有効なシステムであると認識している。今後早急に検討し結論を出していく。プロジェクトチームの今後の在り方は4月の組織再編で新た



公明党 木戸 徳吉 議員

被災者支援システムは各部にプロジェクトチームが設置された。半年をかけて市の重要課題を検討し、施策推進、課題解決に取り組みとある。結論を得た後の取り組みは。9月末で集約して早急に方向性を出し、アクションプランとして実行し

市内には多くの体育施設があるが、施設の運営状況は適切か。利用者や地元ニーズを勘案し、指定管理や直営で適切に管理運営している。

大町

老朽化した通天湖堰堤の強度に不安

市民の声を府に伝えていく

市長

学園大学にりり深の水質調査を依頼されたが、現在の調査内容と今後は。通天湖およびその上流の不純物測定と植物プランクトンの既存量を中心に月一回定点調査している。秋以降は頻度を高め、一年間の調査後報告を受け

築後69年経過し老朽化した堰堤の強度が不安である。調査改修が必要と考える。府の調査では損傷は認められずとの回答であるが、経年も事実。市民の声があることを伝えていく。



丹政会 大町 功 議員

連続する差別事象に市の対応は。電話による差別事象が連続して発生した。市の対応に問題はなかったのか、今後の取り組みは。また人権尊重の都市宣言をし、市内外に強く発信すべきと考

合併後5年が経過したがいまだに八木バイオエコロジーセンターと園部町南大谷の府道、市道の境界には旧町章の看板がある。市章に替えるべきでは。財政的な問題はありますが、市道は早急に対応する。府道については府に要望する。



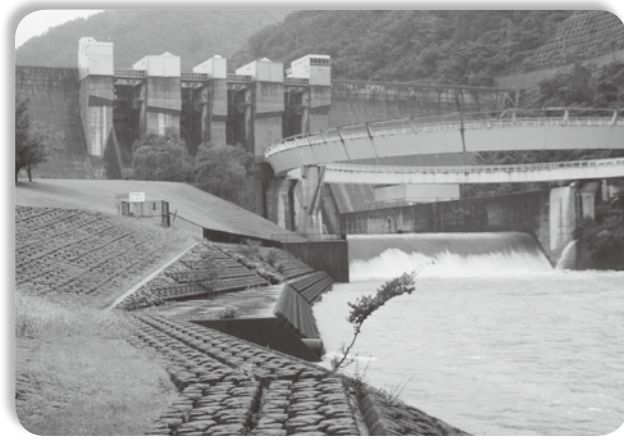
八木バイオエコロジーセンター

山下

市民目線の行政改革を

来年度予算の大きな課題

市長



台風に備え放流する日吉ダム

災害復旧等財政厳しい時期、前年どおりの事業でよいのか。市民生活に役立つ行政を推し進める時期ではないか。行政評

外部評価で見直しの仕組みを作ってきたが、効果的に反映されていない。評価に基づいたスクラップ・アンド・ビルドを敢行しなければならぬ。事業の取捨選択を来年度予算に反映させるのが課題と認識している。



山下 澄雄 議員

スポーツ振興策は。新しく施行されたスポーツ基本法は「スポーツは世界共通の人類の文化」として位置づけているが、体育行政がどう変わるのか。基本法はトップアスリート支援だけではな

く、地域スポーツの活性化をスポーツ振興の両輪と位置づけている。スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことがひとびとの権利と明記されており、今後施策推進のあり方を関係団体と検討していきたい。日吉ダムをはじめ多くの貯水施設があるが、もしものときの想定は出来ているのか。日吉ダムで具体的な勉強会を予定している。市内に125カ所ため池があり、毎年、府が調査・診断している。想定被害については、危険度の高い池を中心に防災マップを作成中。スクラップアンドビルドとは組織を新設する際、既存と同等の組織を統合することで肥大化を防ぐこと。